

JSAF 外洋東海第 100 回理事会・第 53 回代議員会議事録

1.開催日時 2023 年 1 月 23 日（水）午後 7 時 00 分～9 時 30 分

2.開催場所 Zoom によるオンライン会議

3.出席理事及び代議員

<理事会>

（本人出席）

大島茂樹、坂谷定生、岩瀬喜貞、川合紀行、三浦信郎、中村 孝、長坂 収
奥田義明、結城光広

（委任状出席）

大橋哲二、水谷節生、龍野信人

定足数 10 出席数 12（成立）

<代議員会>

（本人出席）

坂口龍哉、岩瀬喜貞

（委任状出席）

岡 吉樹、安井 理、永井守久、龍野信人、

定足数 5 出席数 6（成立）

（オブザーバー）

富川則之（監事）

4.議事内容

定刻になったので、大島会長議長となり理事会・代議員会の開会を宣す。
議事録署名人として、奥田義明、坂口龍哉の両氏を指名後議事に入る。

1) 2022 年度事業実績報告（12 月 31 日現在）について

2) 第 47 回東海チャンピオンシップ決算報告について

3) 2022 年度決算見込について

以上 3 議案会長命により、坂谷専務理事より資料 1、2、3 に基づき報告があった。

<説明概要>

本年は計画 7 レース中、中止は 8 月のラグーナ・デニスコナーカップのみで、6 レース
を開催した。各委員会の活動概要は記載のとおり。計測委員会の証書発行の内 TRS 取得
はレースが開催されたこともあって、昨年 12 艇から 52 艇に伸びた。

東海チャンピオンシップについては収入 406,000 円に対し、支出 404,313 円で 1,687 円
の黒字であった。

2022 年度の収支決算見込について残り 2 ヶ月を加味し、予測総収入 8,980,956 円に対し、
予測総支出は 7,510,261 円で 1,470,695 円の次年度への繰り越しが見込める状況である。

以上説明後、会長質問の有無を確認したところ特に無く、報告は終了した。

4) 2023 年度以降の活動方針と友の会資金の取扱いについて

大島会長より資料 4 のとおり、今後の活動方針について現状の背景に対応すべく外洋東海

としての今後の目標を3点掲げ、その財源として外洋東海が保有する「外洋東海友の会資金」を活用することについて説明し、理事会の承認を得た。(前回の理事会では文書表現は無かったものの、考え方については承認されていたので、今回は文書として確認された。)

5) 2023年度事業計画案及び収支予算案について

会長命により坂谷専務理事資料6,7に基づき説明する。

中村理事より予算書について、当初より赤字予算を組むのは承認できないとの意見があり、(前年度繰越金を全額収入に入れ、支出予算を組んだため)事務局より繰越金はそのまま次年度に繰り越した修正案を提案し、会長諮ったところ理事会承認された。

6) 2023年度以降の年会費について

会長より承認された活動方針の目標の一つである会費の減額改正に基づき、前回の理事会で既に承認されている減額幅を考慮した年会費案について、資料8のとおり説明し、理事会承認を得た。

7) 2023年度レース日程及びレース参加料について

会長命により坂谷専務理事より資料9に基づき説明。

この中で、三河湾周遊レースと五ヶ所湾合同レースについてはパーティーが出来ないことが明白なので、エントリーフィーを3,000円下げ7,000円とした。また、エリカカップは通常5月第4週だが、5月26日~28日までラグーナビーチで大規模なイベントがあるため、ラグナマリーナからは混雑を避け1週前に変更してほしい旨の連絡があり、市も同様な考え方なので、第3週の5月21日(日)に設定してはどうかと考えている。

会長諮ったところ、案どおり承認された。

8) 友の会資金の取扱いに係る総会への提案方法について

会長から例年総会と年会費案内を葉書で会員全員に出しているのので、資料10に示す葉書で承認を求めたい旨説明したところ、葉書文面の修正の提案があったので、修正を行った上で葉書を出すことについて諮ったところ、承認された。

4~8項目の理事会審議が完了し、代議員会へ提出することが承認されたので、会長改めて四議案まとめて代議員会に諮ったところ、全員異議なく承認された。

9) 各委員会報告

会長より各委員会に発言を求めたが、連絡事項等無いことを確認した。

以上で協議終了したので、午後9時30分会長閉会を宣し、散会した。

作成者 坂谷定生

2023年1月25日

議事録署名人 奥田義明

坂口龍哉